

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社 すみか

【サービス名称】

探究コーディネーター（フルサポートプラン）

【サービスの支援項目】

カテゴリーⅠ 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月



■ 探究・校務改革支援サービスの概要

I. サービスの概要、特徴

(1) 商品・サービス概要

本サービスは、学校における探究学習・キャリア教育の実施に伴う企画設計・外部連携・運営支援を、専門人材が伴走型で支援するコーディネートサービスである。教員と連携しながら、年間を通じて探究活動の質向上と校務負担の軽減を同時に実現する。

導入によるメリット、類似サービスとの違い等

探究学習の設計が整理され、授業運営が安定。また、外部調整を担うことで、教員の業務負担の軽減。

弊社サービスは単発ではなく年間を通じた伴走支援。教員の代替ではなく、自走を目的とした支援である。

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

本サービスは、教員が抱える多岐にわたる業務を代行し、学校のニーズや生徒の実態に合わせた就業体験先を推奨。

企業との調整やインターンのバックアップを通じて、キャリア教育の充実を図り、教育活動の質を向上させるとと

もに、教職員の働き方改善に寄与する。

(3) サービスの活用場面

- ・総合的な探究の時間における年間計画・授業設計の支援
- ・探究テーマ設計や整理段階での伴奏支援
- ・外部講師、社会人の選定および調整支援
- ・発表、振り返り場面での構成整理や改善支援

1. サービスの概要、特徴

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

月額2,000円(税別)/1人あたり

価格に含まれるもの: 独自カリキュラム開発、教材作成、外部連携調整、教員研修、成果発表支援

含まれないもの: 冊子制作、広報映像、体外報告書作成

2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

探究学習やキャリア教育を円滑に進めるため、授業初期に講師が対面またはオンラインで同席し、進行補助・生徒対応・教材活用のサポートを行います。また、導入前のアカウント制作や操作ガイドの共有、校内説明会の実施、実践的なOJT形式での支援により、教員の不安や業務負担を軽減。授業準備時間の削減と指導の質向上を同時に実現します。全メインサービスと併用可能で、継続的な自走支援にもつながる導入フェーズ特化のサポートです。

本サービスは、探究活動における設計・調整・振り返りを一体的に支援することで、
児童生徒の主体的な学びを促進するとともに、教職員の負担軽減と校内での探究の定着に寄与した。

児童生徒・教職員が抱える課題

- ・児童生徒にとって、探究活動の進め方や問いの立て方が分かりづらい
- ・教職員にとって、探究の授業設計や外部人材との調整が大きな負担となっていた
- ・探究活動が単発になりやすく、振り返りや次への改善につながりにくい状況があった
- ・校内で探究に関する共通理解やノウハウが蓄積されにくい状況があった

サービスが果たす役割

- ・探究コーディネーターが全体設計を支援し、児童生徒が探究に取り組みやすい環境を整備
- ・外部講師・社会人との調整を担うことで、教職員の業務負担を軽減
- ・授業同席や振り返り支援を通じて、探究活動を継続・発展させる仕組みを構築
- ・校内に探究の進め方や視点を残し、次年度以降につながる体制づくりを支援

サービスの活用風景・授業の流れ

サービスの活用場面

本サービスは、探究学習・キャリア教育の授業において、**外部講師（社会人）との対話型プログラムの設計・運営**に活用された。
授業設計、外部講師の選定・調整を事業者が担う
授業当日は探究コーディネーターが進行・ファシリテーションを実施
教職員は授業運営の補助・生徒観察に専念

授業の流れ

1. 導入

授業の目的共有、問いの提示

2. 社会人との対話

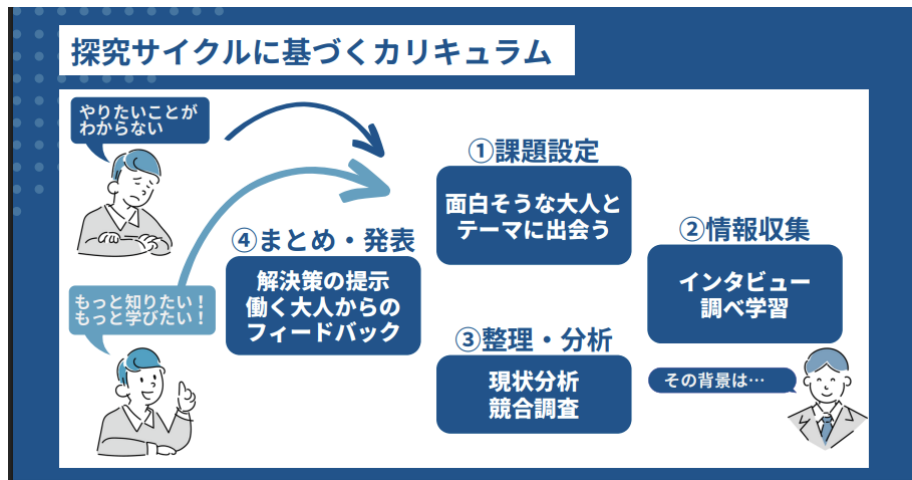
仕事・生き方をテーマにした少人数対話

3. 振り返り

気づきの整理、進路・将来への内省

課題解決のポイント

外部人材調整・授業設計の負担を事業者が担うことで
教職員の業務負担を軽減
生徒は社会人との直接対話を通じて
主体的に考える探究的な学びを実現



本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	2	学校等教育機関数	5校
---------------	----------	-----------------	-----------

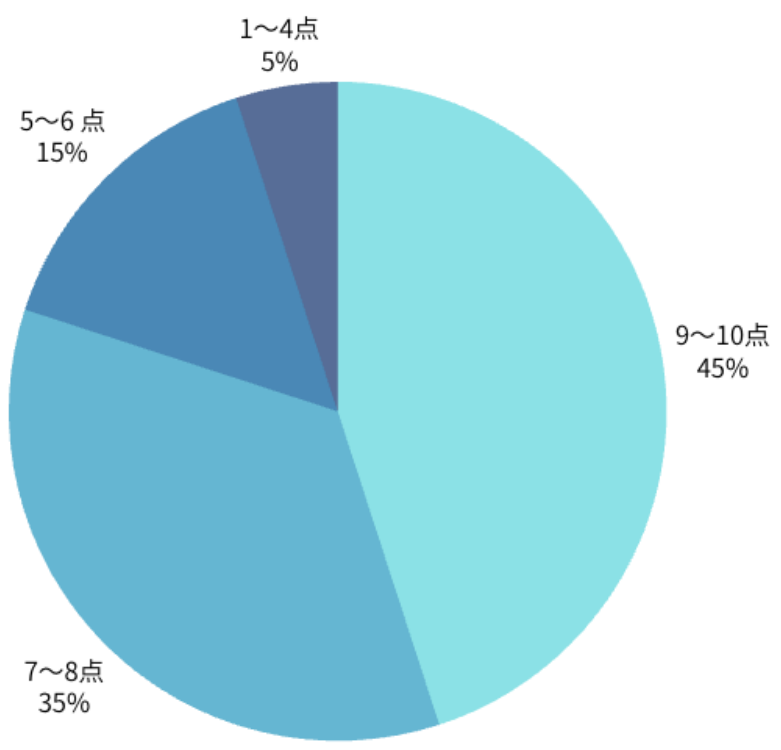
	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	札幌市教育委員会	札幌市立発寒中学校	北海道	中学校	3	総合的な学習(探究)の時間
2	札幌市教育委員会	札幌市立月寒中学校	北海道	中学校	2	総合的な学習(探究)の時間
3	札幌市教育委員会	札幌市立平岡中央中学校	北海道	中学校	2	総合的な学習(探究)の時間
4	札幌市教育委員会	札幌市立太平中学校	北海道	中学校	3	総合的な学習(探究)の時間
5	北海道教育委員会	北海道江別高等学校	北海道	高等学校	2	総合的な学習(探究)の時間

定量的効果検証

5校合計 生徒1,573名中、当日参加者(約1,070名)

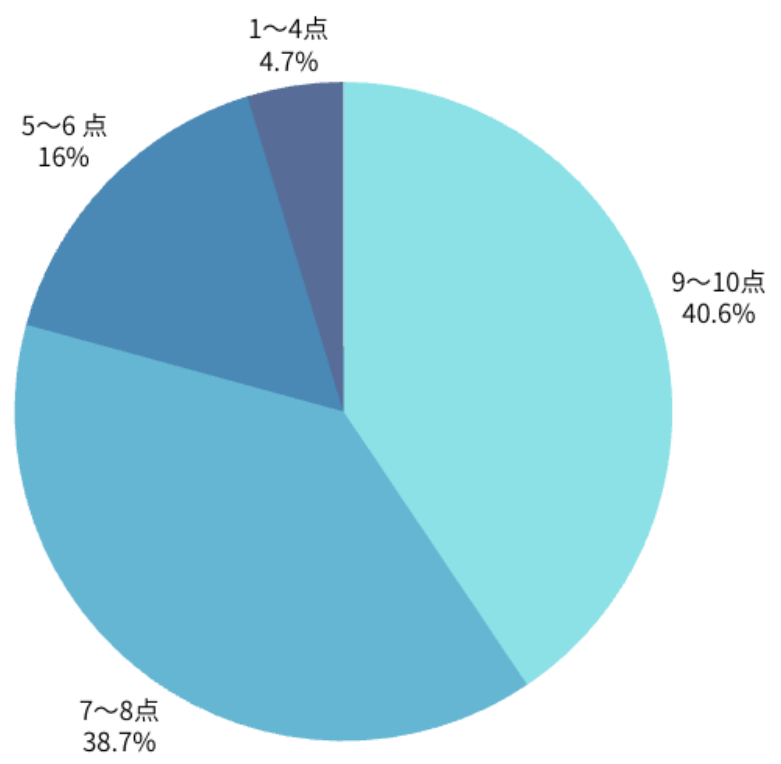
今回のプログラムの満足度はどれくらいですか？

平均8.0点



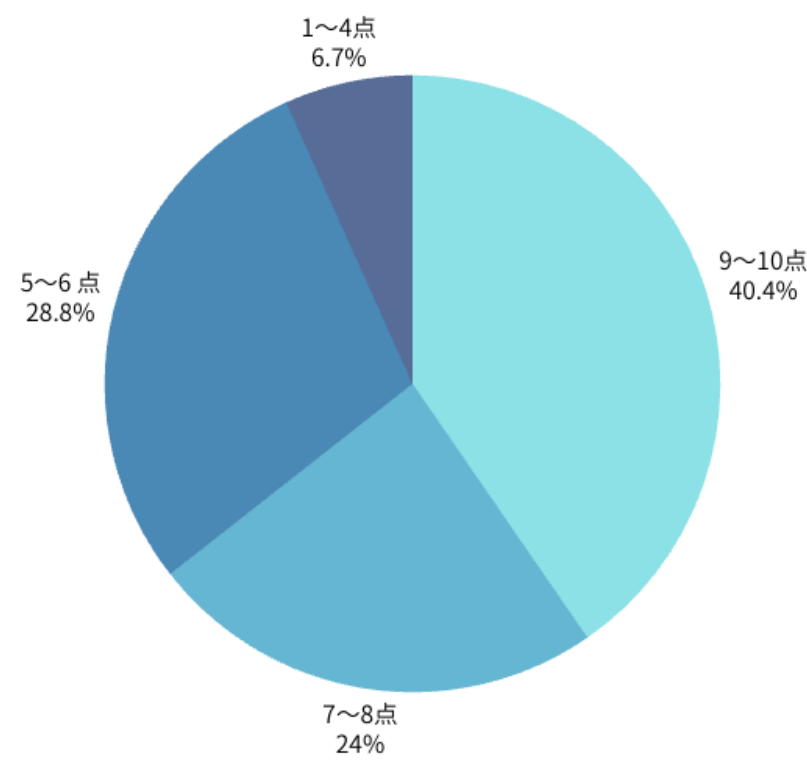
友人・同級生に勧めたいと思いますか？

平均7.4点



将来や進路への不安はどの程度和らぎましたか？

平均7.5点



アンケート結果より、参加生徒の約80%が本プログラムを「友人・同級生に勧めたい」と回答し、また約80%が「進路や将来への不安が軽減された」と回答しており、キャリア意識の醸成および心理的負担の軽減に対して高い定量的効果が確認された。

■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定性的効果検証

① 児童・生徒に見られた変化

- ・社会人との対話を通じて、**将来や仕事を「自分ごと」として考える発言が増加**
- ・普段発言が少ない生徒も、少人数対話の中で**自分の考えを言葉にする場面が多く見られた**
- ・「失敗してもよい」「回り道も意味がある」といった、**挑戦に前向きな価値観の変化が確認された**

生徒の声（抜粋）

「実際に働いている人の話を聞いて、進路の考え方が変わった」「将来が少し楽しみになった」

② 教職員に見られた変化

- ・外部講師の調整・授業進行を事業者が担うことで、**教員は生徒理解や観察に集中できた**
- ・授業後の振り返りで、**生徒の新たな一面や内面の変化を把握できたとの声が多く挙がった**

教職員の声（抜粋）

「普段、声を発しない生徒の声を久しぶりに聞いた」
「教員だけでは引き出せない生徒の表情や言葉があった」

③ 学校現場全体への影響

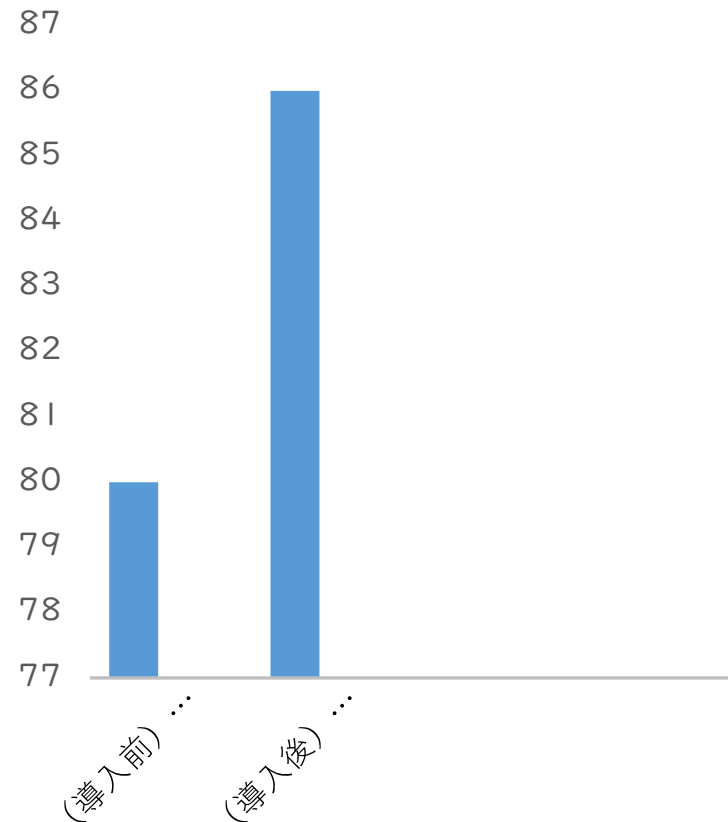
- ・キャリア教育・探究学習を**学校単独で抱え込まない体制が構築された**
- ・外部人材と連携することで、**授業の質と多様性が向上**
- ・教職員の**心理的・時間的負担の軽減につながった**

定性的効果のまとめ

本サービスの導入により、生徒には「考えを言葉にする経験」と「将来への前向きな変化」が、教職員には「業務負担の軽減」と「生徒理解の深化」がもたらされた。

定量的効果と合わせ、探究学習・キャリア教育における有効性が確認された。

教員アンケート(n=15名)
校内での役割分担や目的共有について



「導入前は校内での役割分担や目的共有に課題を感じていた」と回答した教員は約80%、導入後は「校内連携が改善された」「準備負担が軽減された」と回答した教員が約85%となった。

■ 探究・校務改革支援サービスを活用した児童・生徒・教職員等のコメント感想等

① 生徒の声(主な傾向)

進路や将来に対する前向きな変化

「将来について考えるきっかけになった」

「進路への不安が軽くなった」「やってみようと思えた」

働くことのリアルな理解

「仕事は一つの道だけではないと分かった」

「失敗や回り道も意味があると知った」

自己肯定感・行動意欲の向上

「挑戦してみようと思えた」

「今の自分でも大丈夫だと思えた」

多くの生徒が、“知らなかった職業・生き方に触れることで、将来を自分事として考えるようになった”と回答している

② 教職員のコメント

・外部の大人が関わることで、生徒の発言量・質問数が増加

・教員だけでは提示しにくい多様なキャリア観・価値観を補完できた

・探究学習や進路指導を「実社会と接続する授業」として実施できた

・普段あまり発言しない生徒が、自分の考えを言葉にする場面が見られた



本導入実証を通じて、サービス内容の事前説明や初期支援の標準化が重要であることが明らかになった。

今後は、導入前後の支援プロセスを整理・改善することで、より円滑な導入と継続的な活用を目指す。

直面した課題

導入時の課題

探究コーディネーターの役割や支援範囲について、学校側との認識合わせに時間を要した。各校の探究経験や体制に差があり、初期対応の調整が必要だった。

実施していく中での課題

学校ごとの進捗やニーズに応じた柔軟な対応が求められ、支援内容の整理が難しかった。

実施した結果、新たに顕在化した課題

導入初期の支援内容を、より分かりやすく標準化する必要性が明らかになった。

解決するための改善策

- ・導入前にサービス内容や役割を整理した説明資料を充実させる
- ・初期フェーズにおける支援項目を整理し、導入モデルを明確化する
- ・学校の状況に応じた支援パターンを蓄積し、対応の効率化を図る

社名	株式会社すみか
代表	月館 海斗
設立年月	令和4年1月24日
本社	札幌市中央区北一条西8丁目2-7 アルファ西8丁目ビル 壱番館 5階
資本金等	660万円
売上高等	3000万円
従業員数	6名
事業内容	株式会社すみかは、探究学習とキャリア教育を軸に、学校・企業・地域をつなぐ教育事業を行っています。中学校・高校への探究プログラム提供やコーディネート、企業と連携した課題解決型学習の企画運営を行うほか、通信制高校サポート校「sumika Academy」や、学びと仕事が交差するコワーキングスペース「sumika Learning Studio」を運営しています。誰もが安心して挑戦できる環境をつくり、学びを社会とつなげることを目指します。

■お問い合わせ窓口

担当：月館 ひらり

電話：070-1466-9232

Mail:info@sumika-edu.com